

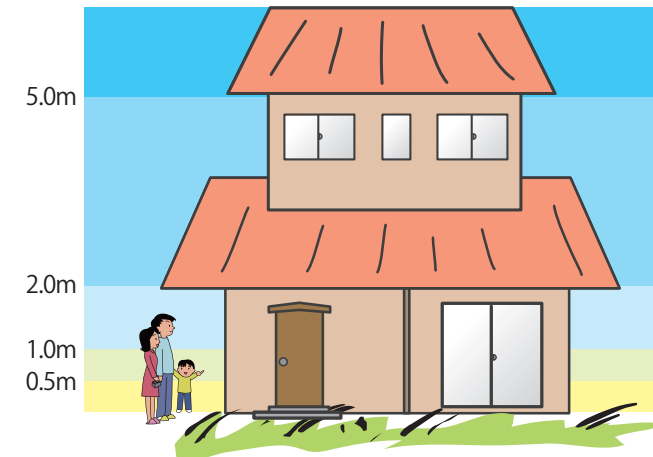
洪水ハザード情報について

水防法に基づき、北上川の洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 説明

- この「矢巾町防災マップ」で使用しているハザード情報は、矢巾町に関する河川(北上川・見前川・岩崎川・芋沢川・大白沢川・太田川)が、大雨によって氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。浸水の目安は「浸水ランクの目安」でご確認ください。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。
- 浸水ランクの目安 想定した大雨の規模(2日間で226mm)

5.0m以上の区域	2階の屋根以上が浸水する程度
2.0~5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する程度
1.0~2.0m未満の区域	1階の軒下まで浸水する程度
0.5~1.0m未満の区域	大人の顔までつかる程度
0~0.5m未満の区域	大人の膝までつかる程度



2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。

洪水警報(気象庁)

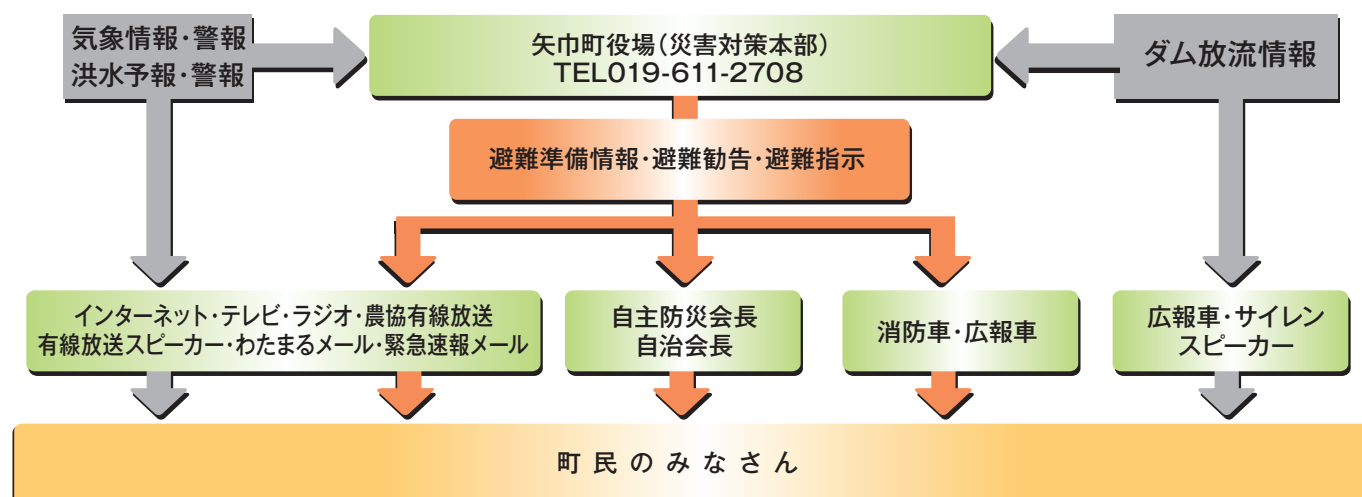
- 洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。

指定河川洪水予報など

- 北上川上流については、盛岡地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する岩手河川国道事務所が河川水位の危険度を予測し共同発表します。

3 洪水情報の伝達ルート

- 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

大雨のときの行動ガイド

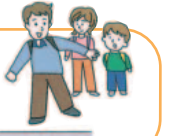
雨が降り続けていたら

テレビ・ラジオで最新の気象情報を入手しましょう。



気象警報が発表されたら

重大な災害が発生する危険性が高まっています。川や急傾斜地には近づかないようにしましょう。



- 大雨の際に発表される気象警報等は「大雨警報」、「洪水警報」、「土砂災害警戒情報」があります。
- 数十年に一度の大雨のときは「大雨特別警報」が発表されることがあります。



住んでいる地区に 避難準備情報が発令されたら

避難勧告が発令される可能性があります。非常持出品を準備するなど、避難の準備をしてください。



- 避難準備情報は、避難勧告を発令する可能性のある地区に避難の準備を促すために発令します。
- 避難準備情報が発令されずに「避難勧告」が発令される場合もあります。

※避難に時間のかかる方(お年寄りや身体の不自由な方)は 早めの避難開始を!

住んでいる地区に 避難勧告が発令されたら

速やかに指定された避難場所へ 非常持出品を持って避難してください。



- 避難勧告は、生命に危険が及ぶ可能性がある場合に発令します。
- 避難勧告は地区や避難場所を指定して発令します。
- 避難勧告より更に危険な状況では「避難指示」が発令される場合もあります。

※道路が冠水するなどして、避難場所 へ向かうことが危険な場合は、自宅 の2階など、できるだけ高いところ へ屋内待避します。

避難時の注意点

①安全で動きやすい服装を

- ・ヘルメットやずきん等で頭を保護する。
 - ・裸足で避難しない。脱げにくい運動靴で避難する。
- ※長靴は水が溜まると動きにくくなるのではない!

②足元に注意

- ・水の深さに注意する。
- ※歩行可能な水深は一般的に男性70cm、女性50cm。水の流が速い場合はさらに注意が必要!

- ・水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。

③隣近所で声を掛けあって避難

- ・単独行動はしない。
- ・はぐれないようロープで互いの体を結んで流されないようにしましょう。

④要配慮者の安全確保

- ・病人や高齢者は背負って避難する。
- ・子供は大人が手をつないで避難させる。その際、浮き袋を付けるようにしましょう。